

NK

EXCITING MESSAGE FOR DôTô
熱・気・球

NETSU-KIKYU

NO. 50 2004
DôTô
November



第2次小泉改造内閣発足 (2004.9.27 首相官邸にて)

経済産業大臣再任!

—実績と手腕に高い評価—



サハリン 訪問



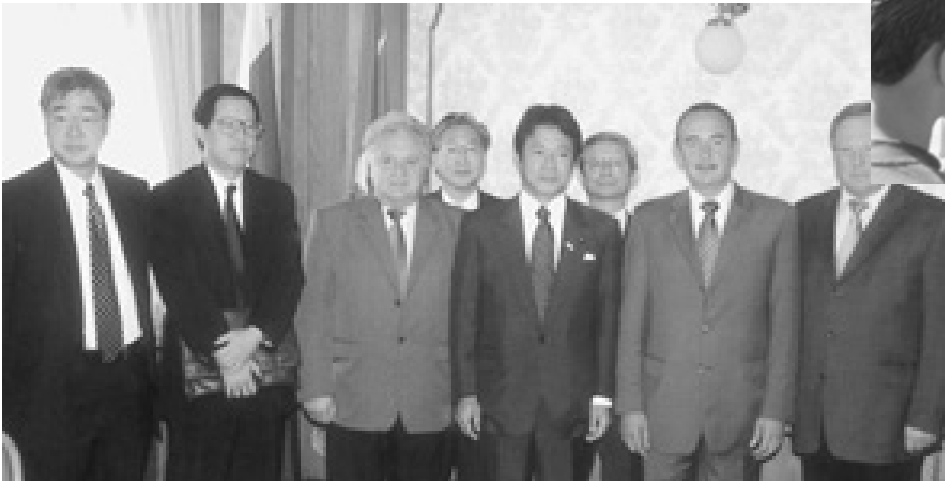
(2004.8.16~8.20)



イシャエフ ハバロフスク州知事と（大臣の右となり）（8.19）



ハバロフスクの子供達と（8.20）



マラホフ サハリン州知事と（大臣の右となり）（8.17）



日本人墓地で献花（8.19）



アムール鉄橋で説明を受ける（8.19）



サハリンII LNGプラント建設現場にて（8.16）

外国訪問

昭一大臣は昨年9月に経済産業大臣に就任して以来、1年間に12回の外国訪問をこなしました。訪れた国々の政府要人と会談を行い、通商・貿易・エネルギー、などが国の重要課題について交渉に当たるとともに意見を交わしました。

なかでも8月のロシア訪問は、わが国のエネルギー供給先の多角化に道を開く大きな意義を持つものでした。この訪問では、函館からサハリン旧樺太に入り、石油・天然ガスの開発プロジェクト現場を視察するとともに、マラホフ・サハリン州知事と会談しました。

現地ではサハリン1、サハリン2の2つの巨大プロジェクトが進められています。これらの開発現場は交通不便な僻地にあります。昭一大臣は、タタ機とヘリコプタを乗り継いで不便な現地に赴き、自分の目でプロジェクトの進行状況を視察しました。

サハリンは稚内から宗谷海峡を隔ててわずか43キロ。石油・天然ガスの本格的な採掘が始まり、北海道にパイプラインが引かれると、道経済の活性化にもつながると期待されています。

サハリンからロシア・ハバロフスクに飛び、イシエ

欧州・ロシア訪問

(2004.4.29~5.4)



ラミー欧州委員との会談 (5.2 ベルギー ブラッセルにて)



ジューコフ副首相との会談 (4.30 ロシア モスクワにて)

カンボジア訪問

(2004.1.13~1.15)



チャム・ブラシッド商業大臣とアンコールワット遺跡視察 (1.15)



シアヌーク国王へ表敬訪問 (1.14) (代表撮影)

インドネシア訪問

(2004.9.3~9.5)



第11回アセアン経済大臣会合 (9.4)

インド訪問

(2004.8.24~8.28)



経済界のビジネスミッションとインド訪問 (8.27)



マンモハン・シン首相との会談 (8.27)

フ・同州知事もシベリアパイプラインを主要テーマに会談しました。こうした一連の会談を通じて、現在90%以上を中東原油に依存している日本のエネルギー供給の偏りを是正することにつながる期待されています。

このほか、昭一大臣は就任直後の昨年10月、タイ・バンコクのAPEC閣僚会合に出席。今年5月にはOECD閣僚理事会・WTO非公式会合でパリを訪問。さらにロシアから帰国直後の今年8月には財界の経済ミッションを伴いインドを訪れました。また9月には日本アセアン経済貿易大臣会合で、カルタを訪れました。

こうした一連の外国出張は計14カ国に上り、100人を超す各国首脳や大臣と会談しました。



再任会見 今後の抱負を語る (2004.9.27)



衆本会議において経済省の法案趣旨説明にあたる (2004.3.12)



つくば産業総合研究所を視察 (2004.7.22)



産業構造審議会にて新産業創造戦略 (Nレポート) を発表 (2004.5.17)

私の政治活動

国会は1月19日召集され
会期150日間にわたり論戦
を展開しました。昭一大臣は
経済産業相として本会議や委
員会での答弁に立ち、質問に
対して丁寧な応答をしまし
た。

昭一大臣が主導して経済産
業省で新たに作り組んでいる
のは、新産業創造戦略です。
わが国の伝統技術や文化に裏
打ちされた強みを活用し、新
時代の産業育成を目指す壮大
な計画です。なかでも、ひと
づくりの重要性を掲げてい
ます。この戦略は、国家10
0年の計が求められている
との昭一大臣の信念を形にし
ています。現場主義を徹底し
約300事業所のべ700
人以上の企業人を訪問して戦
略としてまとめます。

一方、地域再生や経済連携
をテーマにしたタウンミ
ングにも積極的に出席し
わが国の経済・産業・通商・
エネルギー政策などについて
わかりやすく話すとともに
地域の声にも謙虚に耳を傾け
ました。道内では3月13日
函館市で開かれたタウンミ
ングで講演し、経済産業
政策は、一口に言うとな人間力



メキシコとのFTA交渉 カナレス経済大臣とのTV会談 (2004.3.12)



日産 カロス・ゴーン社長が表敬訪問 (2004.3.12)



拉致議連顧問として拉致問題の全面解決を訴える (2004.9.17 拉致国民集会にて)



「浦島甲一写真展 十勝野メモリーズ」を観賞 (2004.4.5)



政府主催による全国各地で開催されているタウンミーティングにおいて一般参加者と対話



を引き出すことだ。つまり
Hハト・情熱、Iイン
テリジンス・知恵、Tテ
クノロジ・技術や技能
Oオ・ガナイゼーション・
組織化が融合した人、HIT
Oが、地域経済を活性化させ
ると強調しました。
北朝鮮に拉致された被害者
の支援にも積極的に取り組ん
でいます。家族会会長の横田
滋さん夫妻はじめ、被害者家
族とは強い信頼で結ばれてい
ます。

愛知万博

自然の大いなる叡智に
驚きと感動の体験が続く

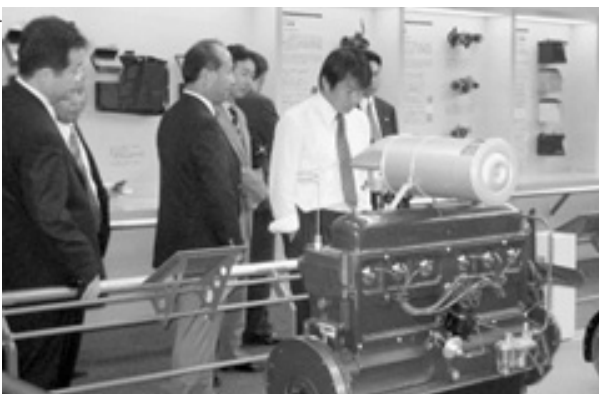
185日間

ついに来春開催！

(2005.3.25~9.25)

Guide Map

造成中の万博会場を視察 (9.15)



担当大臣として

昭一大臣は、愛・地球博

愛知万博の担当相も兼務
しています。日本で万博が開

かれるのは1970年の大阪
万博以来、35年ぶりです。来
年3月15日に開幕して9月25
日まで名古屋東部丘陵の長久
手町、豊田市、瀬戸市で開催
されます。

愛知万博のテーマは、自然
の叡智、サブテーマは、宇宙、
生命と情報、人生の
”わざ”と智恵、循環型社会
です。会場の総面積は173
ヘクタール、世界122カ
国・7国際機関が参加します。
昭一大臣は造成中の会場を
視察に訪れています。特に10
月7日には皇太子殿下に随行
して会場のご説明をしまし
た。

「省エネ・模倣品対策・万博」を国民へPR



省エネPRで仲間由紀恵さんが表敬訪問（2004.8.4）



さまざまな省エネ対策について説明を受ける昭一大臣と仲間さん



富永愛さん表敬訪問 模倣品取り締まりキャンペーン（2004.10.1）



「模倣品、海賊版対策窓口」を設置（2004.8.31）



万博のPRで加藤あいさんが表敬訪問（2003.9.25）

国民へのPRには著名人を起用

経済産業省は 同省の施策を広く国民にPRするために 人気タレントを起用することがあります 昭一大臣はそうしたタレントの訪問を受けることもたびたびあります

例えば省エネのPRには仲間由紀恵さん 愛知万博のPRには加藤あいさんを起用しました また 模倣品の取り締まりキャンペーンには富永愛さんに出てもらいました

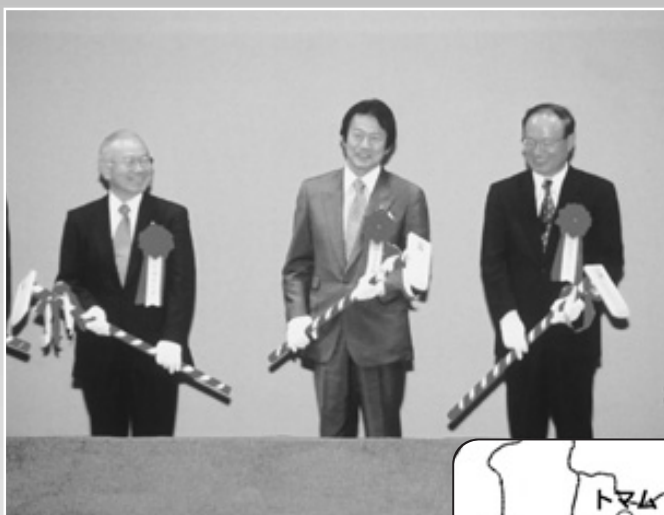
そうしたタレントさんとの懇談は 肩の凝らない楽しい会話が弾みます

清水—夕張間 全線着工

道東自動車道の未開通区間、夕張—十勝清水間の全線着工式が、十月二日、清水町文化センターで開かれました。

「十勝の人間にとつて高速道路整備は切実な要望」であると、機会があるごとに国に地域の実情を説明してきた昭一大臣の活躍や関係者の努力でこの日を迎えました。

夕張—十勝清水間が開通すると日勝峠に比べてこう配やカーブなどの道路線形が大幅に改善されるため、約三十キロ、時間にして約五十分短縮されるほか、大幅な



早期完成を願いくわ入れをする昭一大臣 (2004. 10. 2)



夕張—十勝清水間(81Km)の未開通区間が全線着工となる



祝辞を述べる昭一大臣

安全性の向上が見込まれており、最終完成では釧路・北見への建設も承認されますので道東の全面ネットワークが完成されます。また、高速道路のネットワークが完成すると、十勝の農産物を大消費地へ早く届ける物流面や、観光振興に及ぼす経済効果などの恩恵も期待されています。来賓を代表し昭一大臣は祝辞で、「点であった重要地域が線で結ばれ、面が広がっていくスタートの日。大臣として経済効果や地域発展の観点から全力で知恵を絞っていきたい」と語りました。その後、道央と道東を結ぶ高速ネットワークへの期待を胸に工事の早期完成や安全を願い、関係者とともに盛り砂にくわ入れをしました。

世界ラリー選手権

WRC “前夜祭” で スターターを務める

—最高の興奮と感動の大会に—

世界ラリー選手権(WRC)ラリー・ジャパンの開幕に先立ち、9月2日幕別町札内のコースを自動車行政の所管大臣として視察した昭一大臣は、同日夜、帯広市内平原通で行われたセレモニアルスタート(前夜祭)にも出席しました。「WRCが最高の興奮と感動を共有できる大会であってほしい」とあいさつ。その後、参加する各車にスタートフラッグを振り、会場に集まった5万2千人の人々と国内初の歴史的イベントの瞬間を見守りました。



WRCのセレモニアルスタート(前夜祭)で祝辞を述べ、スタートフラッグを振る昭一大臣(2004. 9. 2)